

環境と道路利用者に配慮した耐震補強工事を行います！

～ 国道298号 幸魂大橋（斜張橋部）耐震補強工事 ～

記者発表資料

○ 彩湖の水環境に配慮

彩湖は、荒川下流部の洪水防御と首都圏（埼玉県・東京都）への水道用水の供給を行っている施設であるため、工事に伴い水質に与える影響に配慮して、台船・鋼製函体を使用します。

○ 道路利用者に配慮（交通規制をしません）

今回の工事は現道上で工事を行わずに、すべて橋下で行います。

○ 工事期間の短縮

従来工法で3年かかるところ、鋼製函体こうせいかんたいの使用で2年に短縮し、併せてコストも約20%縮減しました。

国道298号幸魂大橋は、和光市新倉～戸田市美女木における新河岸川、荒川及び彩湖（荒川第一調節池）に架かる橋です。今回の工事は橋脚の耐震補強を行うものであり、関東地方整備局で初めての斜張橋における橋脚補強工事です。

工 期：平成21年11月 から 平成23年度末まで
工事場所：国道298号 幸魂大橋（斜張橋部）

平成21年10月23日(金)

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所
埼玉県草加市花栗3-24-15 TEL:048-942-4041(代表)

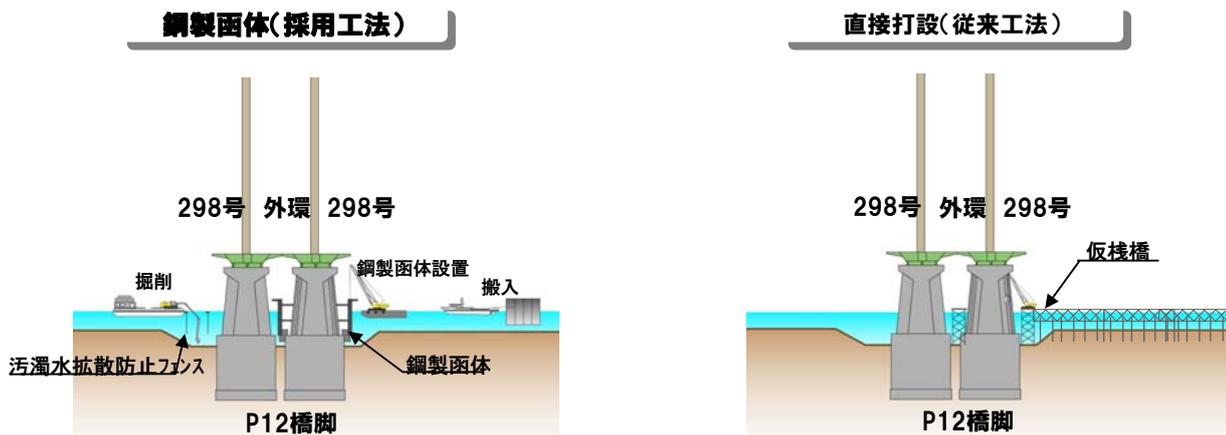
副 所 長 秋 元 孝 夫 (あきもと たかお) 内線205
管理課長 川 平 吉 則 (かわひら よしのり) 内線431

1. 彩湖の水環境に配慮・・・（台船の使用・鋼製函体の使用で水環境に配慮します）

通常は資材搬入や機械の搬入に仮橋を使用しますが、彩湖は水道用水（埼玉県・東京都）として利用されることから、彩湖底面の保全を図るために台船を使用します。

また、通常橋脚補強は水中で作業を行います、コンクリート打設時の水質に与える影響に配慮して、鋼製函体を使用します。

さらに、彩湖底面の掘削時は汚濁水拡散防止フェンスを使用して泥の拡散に配慮します。



2. 道路利用者に配慮・・・（交通規制をしません）

従来工事は橋上から資材搬入等を交通規制を行い実施するところ、今回の工事は全て橋下で行い、交通規制はしません。

※工事箇所は東京外環自動車道(4車線)と国道298号(4車線)が並行する交通量の多い箇所(合計約11.6万台/24h)です。

3. 工事期間の短縮・・・（1年短縮します）

従来工法では3年間かかるところ、鋼製函体を使用することにより2年間に短縮します。

鋼製函体 (採用工法)	1年目	2年目
函体設置・撤去	出水期存置	
資材搬入・搬出	[Red bars indicating activity]	
橋脚補強	[Red bars indicating activity]	

※鋼製函体を利用し工事期間を1年短縮することで、コストも約20%縮減します。

直接打設 (従来工法)	1年目	2年目	3年目
仮橋設置・撤去	[Black bars indicating activity]		
資材搬入・搬出	[Black bars indicating activity]		
橋脚補強	[Black bars indicating activity]		

※彩湖内の工事は非出水期（11月から5月）に実施します。

橋梁耐震補強の目的

兵庫県南部地震と同程度の地震動に対しても落橋による甚大な被害を防止し、円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等において重要な役割を果たす道路を確保することを目的に橋梁の耐震補強を行っています。

工事の概要

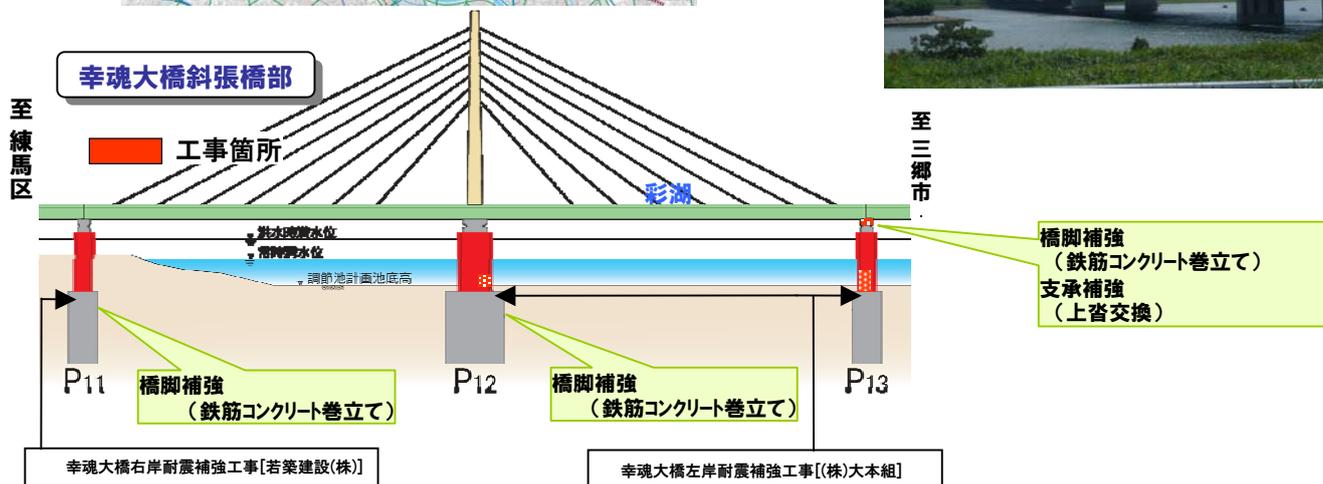
幸魂大橋（斜張橋部）については、斜張橋という特殊な構造であることから「幸魂大橋耐震補強検討委員会*」を設立して耐震補強方針についての検討・計画案の審議を行いました。この結果を基に、平成21年度から工事を行います。

*:平成18年10月設立。国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所、東日本高速道路(株)、国土交通省北首都国道事務所において構成

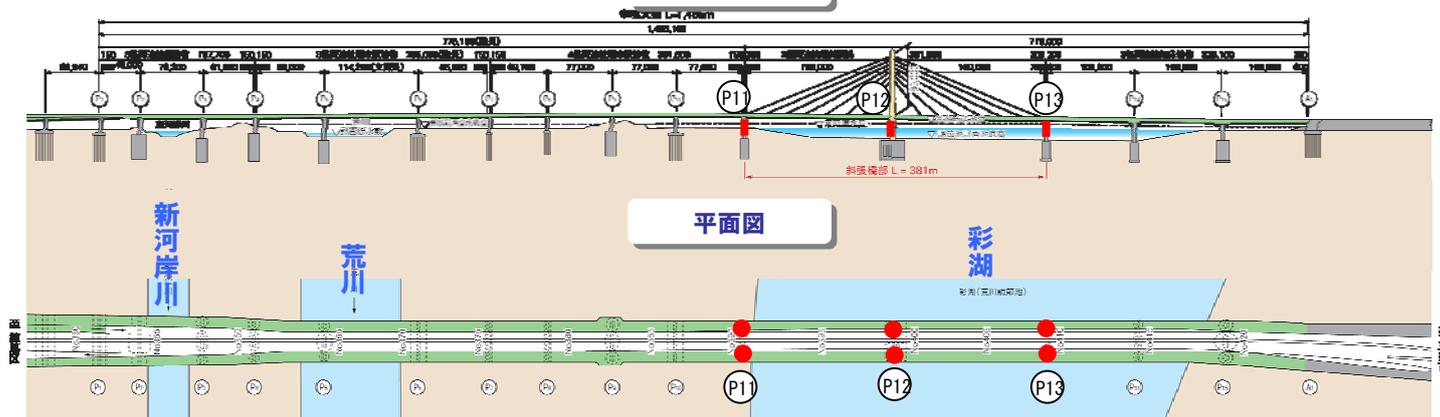
位置図



幸魂大橋斜張橋部



側面図



道路交通量

東京外環自動車道（和光北IC～戸田西IC間）
国道298号（戸田市美女木中前原）

約86,300台/24h
約29,500台/24h

（平成17年度道路交通センサス）

平成21年11月から工事着手予定です。